

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	洛西愛育園		
○保護者評価実施期間	2026年2月10日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	2026年2月10日		～ 2026年2月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2施設	(回答数) 2施設
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士、指導員、作業療法士、言語聴覚士、看護師等の多職種が連携して支援ができる。	・子どものニーズにより、それぞれの職種の意見を参考に支援を行うことができる。	・保育所等訪問支援対象児の状態に応じた職種が支援に関われるようにすること。
2	・保育所等訪問支援だけでなく、施設を訪問して相談活動を行っている。	・地域支援として「あそびの広場」として、発達が気掛かりな子どもと保護者のあそび場の提供と相談活動を行っている。	・相談活動を行う人材の育成。
3	・様々な発達に制約を持つ子どもに対する支援経験を生かすことができる	・重心児、医療的ケアを必要とする子どもに対応できるように看護師を配置している。	・様々なニーズに対応するための専門性の向上。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所等訪問支援を利用している保護者との直接的な情報共有。	・事業形態によるため。	・支援中の写真を添付した連絡帳を訪問施設を介して伝えているが、やはり、直接コミュニケーションする必要があると思われる。その時間の設定をどのようにするかが課題。
2	・利用者が少ないこと。	・インクルージョンの観点から必要性があることから、手続きの簡略化や制度の周知が必要。	・訪問施設として周知活動を積極的に行う。
3			